

● 旅の「こだわり」

安心・充実の旅

- 一般観光旅行とは異なるテーマや趣旨に沿った旅づくり
- 観光を短縮するような買物めぐりはしません！
- 詳しい資料やきめ細やかなご案内-安心・充実の旅
- 格安ツアーに見られる「安かろう・悪かろう」にしない「こだわり」の旅

● ご旅行条件（要約）

●募集型企画旅行契約
この旅行は株式会社ユーラス（以下「当社」）が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加するお客様は当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」）を締結し、(株)ユーラストラベルが問合せ・申込みを受け付けます。条件は下記他、別途旅行条件書（全文）、出発前にお渡しする最終旅行日程表=確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

●旅行条件・旅行代金の基準
この旅行条件は2018年3月1日を基準としています。また、この旅行代金は2018年3月1日現在の有効なものとして公示されている運賃・規則、又は2018年3月1日現在認可申請中の航空運賃・適用規則を基準として算出しています。

●旅行契約の解除
最少催行人数に達しなかった場合、旅行を中止することがあります。この場合は、出発の23日前（ピーク時は33日前）迄にお知らせします。

●取消料
旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除される場合は、下記の金額を取消料として申し受けます（お一人様）。

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算して遡って40日目にあたる日以降～31日目【ピーク時】4/27～5/6,7/20～8/31,12/20～1/7に開始する旅行	旅行代金の10%

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算して遡って30日目にあたる日以降	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日以降	旅行代金の50%
旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行代金の100%

※オプション・ツアー代金も上記取消料に準じます。
※査証（ビザ）取得実費代金、渡航手続手数料は、そのまま申し受けます。

- 旅行代金に含まれるもの（一部例示）
 - ・航空運賃：旅程に表記した区間の個人包括旅行運賃
 - ・宿泊料金：2人部屋基準、税・サービス料
 - ・食事代：旅程に表記のもの
 - ・空港、駅～ホテル間の送迎車料金
 - ・添乗員同行の経費（同行と明示した場合）
 - ・鉄道運賃（旅程に明示したもの）
 - ・旅程に明示した市内（郊外）見学のガイド料、入場料、チップ

- 旅行代金に含まれないもの（一部例示）
 - ・旅程以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
 - ・渡航手続費用：旅券印紙代（新規に申請される場合）
 - ・渡航手続手数料：出入国記録等書類作成費用、査証（ビザ）取得実費・手数料
 - ・超過手荷物料金：規定の重量・大きさ・個数を超える分

- ・個人的費用：電話、電報、FAX、クリーニング代、追加飲食費用
- ・一人部屋追加料金（相部屋の方がいない場合も同様）
- ・空港施設使用料、航空保険料および保安料
- ・訪問国入国税、燃油特別付加運賃
- ・日本国内の交通費、前泊の費用、ポーター
- ・任意の海外旅行傷害保険料、オプション料金

●その他（1）旅行代金はお一人分を表示しています。
（2）当社所定の申込書にお客様のローマ字氏名記入の際には、使用されるパスポートに記載されている通りにご記入ください。氏名が誤って記入された場合は、航空券の発行替え、関係する機関への氏名訂正などが必要で、この場合、当社は第15条「旅行者の交替」に準じ、交替手数料をいただきます。なお、運送・宿泊機関の事情により、氏名の訂正が認められず、旅行契約を解除いただく場合もあります。この場合には、「旅行契約後の取消」に準じて手数料をいただきます。
●当社の募集型企画旅行にご参加いただくことにより、航空会社のマイルを受けられる場合がありますが、同サービスに関わるお問合せ、登録等はお客様自身で当該航空会社へ手続きいただけます。

●時間帯の目安
以下の通りです。航空機、バス等の移動時刻をもとにした目安です。実際の時刻とは異なる場合がありますので、予めご了承ください。

早朝	朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜
4時	6時	8時	12時	17時	19時	23時
						4時

● 問合せ・申込先

東京都知事登録旅行業 第3-6973号 日本旅行業協会正会員 株式会社ユーラストラベル
総合旅行業取扱管理者：榊原晋治

“いい旅”育てて57年

ユーラスツアーズ

☎ 03-6453-6633

FAX 03-6453-6630 団体旅行課（滝澤・榊原・徳植）

〒108-0014 東京都港区芝 5-13-18 いちご三田ビル 9階

● Eメール : tokyo@euras.co.jp

● URL : http://www.euras.co.jp

● 営業日 : 平日（月～金曜日）9:30～17:30 / 土・日曜日、祝日は休みです

※当パンフレット掲載の写真はすべてイメージです。

観光庁長官登録旅行業第1906号 日本旅行業協会正会員

株式会社タビーズ

〒108-0014 東京都港区芝 5-13-18 いちご三田ビル 9階

● お申込み方法

1 当パンフレットの「参加予約票」をお送りください

下記の「参加予約票」にご記入の上、旅行社宛にご連絡ください。
※お電話、メールにてのお問合せ・お申込み希望のご連絡でも受け付けいたします。※当社ホームページからでも可。「正式申込書」にご記入⇒添付してメールあるいはFAX可。

2 正式申込みに必要な書類を旅行社からご案内

「参加予約票」のご連絡後、旅行社より正式申込書と諸条件書類から旅行保険申込書等をお送りします。
※書類到着後に条件を確認いただき、正式申込書の手続きをお願いします。

3 正式申込み手続き（下記①②が旅行社に到着し正式申込み完了）

- ①正式申込書ご記入の上、旅行社へお送りください。
- ②申込金（旅行費用内金）50,000円を下記口座へお振込みください。

▶口座名義：(株)ユーラストラベル

●ゆうちょ銀行 記号番号 00180-8-265002 (〇-九店)

●みずほ銀行 神谷町支店（普）口座番号：1370507

●りそな銀行 麻布支店（普）口座番号：1782149

※領収書は、銀行あるいは郵便局が発行する明細書をもって替えさせていただきます。

マルクスとエンゲルスが遠く離れた地において、いかに緊密に協力して『資本論』をつくりあげたのか！
産業革命当時のイギリスの実態を見聞しつつ、マルクス・エンゲルスゆかりの街や場所をたずねる

特別企画 友寄 英隆氏と行く

マルクス・エンゲルス ゆかりの地と『資本論』完成の足跡をたどるイギリスの旅

マンチェスター
リバプール
ロンドン 9日間



期間 2018. 6/5 (火) ▶ 6/13 (水)

費用 379,000円 (※燃油代・諸税別)

締切 5/2 (水) ※申込み先着順 発着 成田/関空

- エンゲルスが記述の『イギリスにおける労働者階級の状況』を博物館で見る
- 『ドイツ・イデオロギー』を構想・執筆したチェサムズ図書館を訪問
- マルクス記念図書館と『資本論』第1巻「貨幣」の関わりをロンドン塔で説明
- ゆかりの紡績工場や居住場所を見学しつつ歴史や文化、名所・旧跡も堪能



今回の旅は、イギリスの美しい景色や文化を楽しみながら、「『資本論』完成の足跡」を旅してみようというユニークな企画です。
マンチェスター、リバプール、ロンドンの3つの都市は、それぞれが『資本論』の第I巻、第II巻、第III巻の歴史的背景となった、大変ゆかりの深い街です。
『資本論』をまだまったく読んだことのない方にとっても、この旅への参加は、『資本論』に触れるまたとない良い機会となり、きっと人生の貴重な知的財産になるでしょう。

友寄 英隆

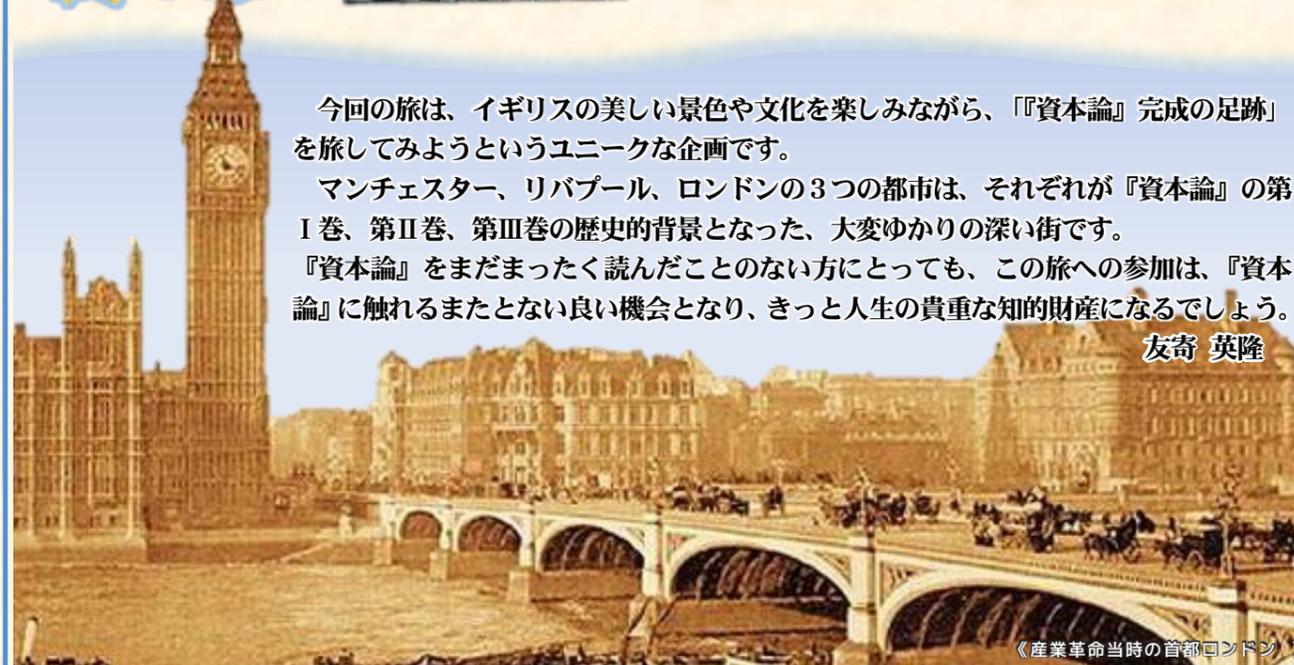
参加予約票 友寄 英隆氏と行く『資本論』完成の足跡をたどるイギリスの旅 (ユーラスツアーズ宛)

フリガナ:	氏名	フリガナ:	氏名
①	住所	②	住所
	電話		電話
	FAX		FAX
	携帯		携帯
	メール		メール

● 発着希望空港 成田 関空 ● 一人部屋を希望 する しない ● ユーラスツアーズを利用したことが ある ない

※当「参加予約票」をお送りいただいた後、旅行社より申込みに必要な諸案内をご住所へお送りいたしますので、渡航手続きを書面に沿ってお進めください。

『資本論』発刊150年 & マルクス生誕200年



《産業革命当時の首都ロンドン》

旅行代金・諸条件	
旅行期間	2018年6月5日⑩～6月13日⑩ 9日間
旅行代金	379,000円 (※2名1室利用)
実施人数	30名様(最低実施人数15名様)
申込締切	5月2日⑩ ※定員になり次第、締切ります
別途費用	成田発着：燃油サーチャージ(27,600円) 諸税(17,920円)
	関空発着：燃油サーチャージ(27,600円) 諸税(20,440円) ※燃油代・諸税は航空券発券時の換算率によって増減することがあります
一人部屋追加	58,500円 ※相部屋の方がいない場合も要追加費用
発着地	成田空港 / 関西空港

▶利用航空会社：オランダ航空、エールフランス航空、フィンエアー ▶利用予定ホテル：マンチエスター(ホリディン / プリタニア)、リバプール(メルキュール)、ロンドン(イビス) ※3～4ツ星利用(バスタブのない場合もあります) ▶添乗員同行(1名 / 添乗員は成田発着)

	スケジュール	食事(朝・昼・夕)	宿泊地
1	成田●午前(09:30~12:00)発→空路 関空●午前(09:30~12:00)発→空路 成田/関空からご出発→経由地の欧州都市空港(マンチェスター行きは搭乗口)にて合流→イギリス中部のマンチェスターへ ●夕刻：着後、ホテルへ	食事 ☒ ☒ ☒ マンチェスター	マンチェスター
2	●午前：マンチェスター科学・産業博物館の見学＝リバプール港から原料綿が「世界の工場」と言われた工場群に運び込まれた鉄道駅舎を改造 *150年前の紡績工場を再現(エンゲルスが記述した『イギリスにおける労働者階級の状態』そのままの危険な実態を展示) ●午後：自由行動 / サッカーの聖地(マンチェスターユナイテッドで有名)国立サッカー博物館やローマ時代の歴史地区が残る街並みの散策などお楽しみください。	食事 ☒ ☒ ☒ マンチェスター	マンチェスター
3	●午前：マンチェスター産業革命とエンゲルスゆかりの場所を見学＝◎産業革命を達成した最初の都市の景観、◎歴史的遺産の見学、◎エンゲルスゆかりのアンコーツ地区の●紡績工場、●運河の遺跡、◎市庁舎の「非核都市宣言」 ●午後：チェサムズ図書館の見学＝英国最古の公共図書館であり、マルクスとエンゲルスが『ドイツ・イデオロギー』を構想・執筆した ●夕刻：陸路(55分)かつて主要な港湾都市であったリバプールへ	食事 ☒ ☒ ☒ リバプール	リバプール
4	●午前：リバプール市内で産業革命の見学＝産業革命時代の建造物を見学しながら、「世界の工場」マンチェスターへ原料綿が陸揚げされた貿易港の◎アルバート・ドックと◎マージーサイト海事博物館 ●午後：リバプール市内見学＝ビートルズゆかりの場所(一帯が観光の名所)◎キャバクラの散策	食事 ☒ ☒ ☒ リバプール	リバプール
5	●早朝：陸路(350分/4~5時間)、専用車にて田園風景を車窓に大英帝国の首都ロンドンへ ●午後：ロンドン市内見学＝◎ビッグベンとウエストミンスター寺院、◎バッキンガム宮殿、◎トラファルガー広場、◎「日本人街」	食事 ☒ ☒ ☒ ロンドン	ロンドン
6	●午前：マルクスとエンゲルスゆかりの場所を訪問＝マルクスの墓がある●ハイゲイト墓地、◎マルクスとエンゲルスが暮らしていた場所 ●午後：『資本論』第一巻にある「貨幣」との関わりもある場所の見学＝◎イングランド銀行博物館、アイザック・ニュートンが20年近く局長を務めた造幣局跡がある●ロンドン塔	食事 ☒ ☒ ☒ ロンドン	ロンドン
7	●午前：マルクス記念図書館を訪問＝労働運動と社会主義運動との関わりやレーニンの部屋などを見学 ●午後：大英博物館の見学と自由行動＝世界最大の博物館の1つ、古今東西より収集・略奪した考古学的な遺物・標本・美術品から書籍までを展示(※マルクスが長年かよった図書館は現在、大英図書館へ移設) (※大英博物館見学後、自由行動となります) ●夕刻(19:30~)OPミュージカル『オペラ座の怪人』を鑑賞 (※中華街で夕食後、劇場に移動)	食事 ☒ ☒ ☒ ロンドン	ロンドン
8	●午前(09:30~12:00)ロンドン発→空路、欧州都市へ ※経由地の欧州都市にて成田便と関空便とに分かれます 欧州都市を経由して→帰国の途へ	食事 ☒ ☒ ☒ 機中泊	機中泊
9	●午前(08:00~11:00)成田着 ●午前(08:00~11:00)関空着	食事 ☒ ☒ ☒	

註：☒印=食事付き、☒印=自由食、✈印=機内食、OP=オプションツアー
●印=入場見学、◎印=下車見学、○印=車窓見学、→=航空機



友寄 英隆氏 (ともより ひでたか)

同行・講師 経済研究者、雑誌「経済」元編集長

●プロフィール 沖縄県生まれ(1942)
一橋大学経済学部卒(65) 同大学院修士課程修了(68)
しんぶん赤旗編集委員、雑誌「経済」編集長(95~06)
現在、労働者教育協会理事

主な著書

- 「新自由主義」とは何か(06)
- アベノミクスと日本資本主義(14)
- アベノミクスの終焉、ピケティの反乱、マルクスの逆襲(15)
- 『資本論』を読むための年表(17)
- 「人口減少社会」とは何か(17)

緑 産業革命とマルクス・エンゲルス ゆかりの場所をめぐる

●マンチェスター科学・産業博物館 世界最古の駅舎が博物館

2日目/マンチェスター

綿工業が栄えた18~19世紀に世界の綿花がマンチェスターで綿糸・綿布となって輸出される輸送に鉄道が活躍した。
世界最初の旅客鉄道(1830年開業)の終着駅が現在のマンチェスター科学産業博物館。建物そのものが歴史的に重要な産業遺産であり、当時の原動力であった巨大な蒸気機関が多数展示され、産業革命時代の技術を示す総合博物館である。

●チェサムズ博物館 マルクスとエンゲルスが『ドイツ・イデオロギー』を練った場所

3日目/マンチェスター

イギリス最古の図書館で、床から天井まで革や高級羊皮紙で製本された本が、10万冊以上所蔵され、半分以上が1851年より以前に出版。16~17世紀の雑誌、中世の手書き原稿や劇場プログラムもある。
アイザック・ニュートンの初版物、そして17世紀の木製家具が置かれた豪華な閲覧室の中には、マルクスとエンゲルスが『ドイツ・イデオロギー』の構想を練り、執筆した小部屋がある。

●アルバート・ドックとマージーサイト 海事博物館 かつての最先端だった港

4日目/リバプール

かつては世界で最先端の港。1846年に建てられた当時、最新だったこのドックには、世界初の水圧式昇降機があり、巨大な倉庫設備が並んでいた。
今では再開発され、史跡と多くの主要な文化施設が融合するエリアとなっている。
その中でもマージーサイド海事博物館は、数時間を費やしてリバプールの歴史のさまざまな側面を知るのに格好の場所。

●イングランド銀行博物館とロンドン塔 『資本論』第一巻の「貨幣」と関わりある場所

6日目/ロンドン

イングランド銀行博物館は、重厚感を漂わせる建物は大国イギリスの中央銀行の存在感を存分に表しています。博物館ではこの建物の詳細、銀行の成り立ちと歴史、貨幣と紙幣の詳細などを展示。
ロンドン塔は、世界遺産の中でも類を見ないほど実に多様な使われ方をしてきた建造物。要塞として建築され、宮殿、監獄、処刑場となるほかに、銀行、造幣所としても利用された歴史を持つ。

●マルクス記念図書館と大英博物館 マルクスゆかりの場所を訪ねる

7日目/ロンドン

1933年に設立したマルクス記念図書館。マルクスの科学的社会主義、労働者階級の歴史について教育、学習を進め、英国の労働運動の中心となってきた。
世界最大の博物館の一つ大英博物館。古今東西の美術品や書籍や略奪品など約800万点が収蔵されている。考古学的な遺物・標本や工芸品、世界各地の民族誌資料など多岐に渡る。マルクスが30年近くかよった図書館は現在、大英図書館へ移設。



街 歴史あるイギリスの訪問都市

●マンチェスター 産業革命期の「世界の工場」

1-3日目/2連泊

18世紀にマンチェスターは綿工業などが発展し、産業革命において中心的役割を果たす。「世界の工場」と呼ばれ世界中から綿原料がリバプールの港を通して運ばれ、街は急速に発展した。輸送・運搬のために鉄道や運河が整備され、織物業で繁栄を誇った当時を伝えている。
マルクスを支え続けたエンゲルスの家業、綿産業で発展した「エルメン&エンゲルス商会」も、ここマンチェスターに工場があった。

●リバプール 世界初の旅客鉄道が開始された街

3-5日目/2連泊

イギリスの西海岸にある港湾都市。18世紀後半に産業革命がおこると「世界の工場」マンチェスターへの綿原料の貿易港として栄え、1830年にはリバプール・マンチェスター鉄道が世界初の旅客鉄道として営業を開始する。
その後、第二次大戦以降は貿易不振と比例して、かつての繁栄は見られなくなる半面、文化面で「リバプールサウンド」という音楽が支持を受け、かのビートルズがこの地で誕生する

●ロンドン 『資本論』が完成された世界屈指の都市

5-8日目/3連泊

大英帝国の首都。イギリスのみならずヨーロッパ域内で最大の都市圏を形成する屈指の世界都市として、商業・芸術・ファッション・娯楽・観光といった広範囲の分野に強い影響があり、金融ではニューヨークと並び世界を牽引する。
1849年、ヨーロッパを転々としていたマルクスが最後に逃れてきた大都市。大英図書館に言い続け『資本論』を書き上げ、1883年3月に亡くなるまで住み続けた街。

サッカー発祥の国イングランド 国立サッカー博物館

サッカーファンにはたまらない有名人の記念品からユニフォーム、14万点を超える関連グッズが展示されている。

リバプールサウンドが生んだ ビッグバンド ビートルズ

音楽ファンに関わらず、世界中にその名をとどろかせ、今なお伝説として、愛されているビートルズ誕生の地の散策も楽しみの1つ。

●観 オプション・ツアーのご案内

OP ミュージカル「オペラ座の怪人」 7日目/ロンドン

1986年、ロンドンで初演された後、全世界でもミュージカル史上類を見ないほど人気の高い演目。パリのオペラ座を舞台にコーラスガールのクリスティーズに恋心を抱く「オペラ座の怪人」の物語

6月11日⑩ 19時30分開演
24,500円(※お一人様料金)
6名様以上で催行 日本語ガイド、専用車、チケット代込み
※お申込み時の確保可能な座席料金によって金額が異なります
※チケットは買取りにつき、お申込み後の取消は全額ご負担となります

マルクス・エンゲルス 略年表	
1818	マルクス ドイツ・プロイセン王国のトリアで誕生
1820	エンゲルス ドイツ・プロイセン王国のパルメンで誕生
1835.10	マルクス ボン大学に入学 / 幼馴染のイエニーと婚約(36)
1836.10	マルクス ボン大学からベルリン大学に転校
1840	マルクス イーナ大学に『デモクリストとエピクロスとの自然哲学の差異』と題した論文で哲学博士号を授与される
1842	マルクス 『ライン新聞』に参加・活動し、やがて編集長となる
1843	マルクス 『ライン新聞』編集部を退く
1843.06	マルクス 25歳の時婚約者イエニーと結婚→パリへ移住
1844	マルクス 『独仏年誌』創刊合併号を発行。 エンゲルス 「国民経済学批判大綱」を寄稿 マルクスとエンゲルスが出会い、『聖家族』を共同執筆(45刊行)
1845.02	マルクス パリを追放され、ブリュッセルに移住
1845-46	マルクス 「ドイツ・イデオロギー」を共同執筆(当時刊行されず)
1847	マルクス・エンゲルス 「義人同盟」(後に「共産主義者同盟」)に加入 / マルクス 「アンネンコフへの手紙」「哲学の貧困」 マルクス 同盟大会の委託を受け『共産党宣言』をエンゲルスとの共著で執筆(48に刊行)
1848	フランス「2月革命」、ドイツ「3月革命」
1848-49	マルクスら 革命運動のためフランス、ドイツを行き来する
1848	マルクス一家 ケルンに移住、『新ライン新聞』の発行を始める
1849	マルクス 「新ライン新聞」に「賃労働と資本」の連載。 「新ライン新聞」発行停止 / マルクス、エンゲルス ロンドンに亡命 / ロンドンで共産主義者同盟の再組織化に努力
1850	エンゲルス マルクスの研究を支えるためマンチェスターへ
1850.09	マルクス 大英博物館で経済学などの勉強をしながら執筆活動
1851-52	ドイツの共産主義者同盟への弾圧裁判(「ケルン共産党裁判」)とたたかう。その後、同盟を解散
1857-58	マルクス 経済学の著作のための最初の草稿(「57-58年草稿」)
1859	マルクス 『経済学批判』第1巻刊行
1861-63	マルクス 『経済学批判』の続編草稿を執筆(「61-63年草稿」)
1863-65	マルクス 『資本論』第1部の初稿、第2部第1、第3部草稿執筆
1864.09	マルクス 国際労働者協会(第一インターナショナル)の創立宣言「暫定規約」を起草 / マルクス 執行部委員に選出
1865	マルクス 国際労働者協会総評議会で「賃金・価格・利潤」の講演
1867	『資本論』第1巻初版
1868-70	『資本論』第2巻・第2~第4草稿
1869	ドイツ社会民主労働者党(アイゼナハ派)結成
1870	エンゲルス 商会の仕事から解放されロンドンへ戻る
1871	マルクス 『フランスにおける内乱』 / パリ・コミュン決起
1872	『資本論』第1巻フランス語版刊行開始 / エンゲルス住宅問題
1873	『資本論』第1巻・第2版
1875	マルクス 「ゴータ綱領批判」(エンゲルスにより91に公表)
1876	マルクス 「反デューリング論」の執筆開始
1877-81	『資本論』第2巻・第5~第8草稿
1880	エンゲルス 『空想から科学へ』刊行
1883.03	マルクス ロンドンの自宅で病死(享年64歳)
1883	『資本論』第1巻・第3版
1884	エンゲルス 『家族、私有財産および国家の起源』刊行
1885	『資本論』第2巻刊行 / エンゲルス『フォイエールパッハ論』(86)
1891	エンゲルス 「エルフルト綱領批判」
1894	『資本論』第3巻刊行
1895	エンゲルス マルクス『フランスにおける階級闘争』序文執筆 エンゲルス ロンドンで死去(享年74歳)